



# 例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 井辺 一章
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚 和信
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会報委員長 田中 晶洋



残雪 田中 晶洋

## <会長の時間>

先週の例会、ソフトミニバレーボール大会等、一週間休ませて頂き、3月1日から5日間、九州へ旅立ちました。家内私も70歳を越し、一度くらいは気楽にと思い、ブルムーンというJR企画商品5日間コースで旅に出してみました。高山を8時、新幹線を乗り継ぎ九州の佐賀の宿に着いたのは、夜6時過ぎでした。休みの間、副会長遠藤さんに代わりを務めて頂きありがとうございました。



## <本日のプログラム> 会員スピーチ



## <幹事報告>

### ◎ガバナー、地区青少年交換委員より

- ・2017-2018 年度短期派遣青少年交換学生募集のご案内

対象地区 アメリカ第6650地区 (オハイオ州)

期 間 2017年7月より1ヶ月受入、8月より1カ月派遣

対 象 15歳もしくは16歳の女子 1名

締 切 3月31日(金) ※先着優先

### ◎はぐるま会会長より

第185回はぐるま会開催のご案内

日 時 4月 9日(日) 12:43スタート

場 所 飛騨高山カントリークラブ

会 費 3,000円

締 切 3月24日(金)

## <例会変更>

高山 … 4月13日(木)は、定款により休会

## <受贈誌>

美濃加茂RC(会報)、社団法人高山市文化協会(広報高山の文化、高山メセナメイト)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	35名	1名	36名	39名	92.31%
本日	32名	-	32名	39名	82.05%

### 「飛騨に浄土真宗が伝わった経緯」 田中 晶洋

飛騨に浄土真宗を伝えたルートは2つあるといわれています。一つは、現在高山にある別院＝照蓮寺のルート。これは、親鸞聖人の弟子である嘉念坊善俊という人が、白川郷に道場を建立して飛騨に浄土真宗を広めたというものです。

嘉念坊善俊という人はもともと三井寺の僧侶でしたが、政変に巻き込まれ箱根に流罪となっていました。ある時、箱根を越える僧侶の一行に出会いました、京都へ帰る親鸞聖人の一行です、その人徳に打たれ、教えを乞うと、どんな人をも必ず救うという阿彌陀仏の本願を説かれた。その後嘉念坊善俊は赦免のあと、京都の親鸞聖人を訪ね弟子となった。

弘長2年、親鸞聖人が浄土往生された後、嘉念坊は美濃の国を巡教し白鳥郷に草庵を結んで布教に全力を尽くしました。ある日飛騨の国白川郷に住む人が嘉念坊に白川郷での布教を懇願すると、嘉念坊は布教魂に火が付いたのか、白鳥の人たちが引き止めるのを振り切り白川村鳩谷に草庵を建てた。

その当時のことが『岷江記(みんこうき)』に記されています。「大願業力(だいがんごうりき)の時いたれるにや、草に風をくわうるが如く、悉く集り、国こぞりて帰依し、繁昌日々にいよいよ増して、終に真宗の道場と成れり。名号をもって本尊とし、祖師の真影をわきにかけて安置し、終に当国に真宗道場の濫觴(らんしょう)＝(草分け)となり侍りしなり。」現在鳩谷に嘉念坊の草庵が当時を彷彿とさせる茅葺の形で復元されています。

その嘉念坊が開いた道場には後に照蓮寺という寺号がつけました。約150年後8代目の住職に2人の子供があり長男を教信、次男を明教といいました。教信は寺に生まれながら仏法に心をかけず兵馬の道ばかりを好んでいました。ある日教信は「私はどうしても寺をつぐきになれません。弟の明教に継がせ、私を還俗させてください」と願い出ました。父は何とか長男の教信に寺を継ぐように説得しましたが、教信の意思は固く、父は仕方なく明教に寺を継がせた。

この寺の20キロ上流に牧戸城がありました。城内内ヶ島為氏は飛騨国と越中砺波で威勢を張っていました。ある日の酒宴の席で照蓮寺の長男が還俗して武士となり兵法を鍛錬していることに向一揆の危険を感じた内ヶ島は、翌朝照蓮寺を襲撃した。門徒が団結

## 例会報告

してこの時は内ヶ島勢を追い返した。しかし内ヶ島為氏は体制を立て直し再び照蓮寺に軍を進めた。戦勝気分寺から門徒が引き上げたのを見届けてから再び攻め込みました。兄の教信は弟の明教に「この戦いはおれが仏法に背いたのが原因だ、おれがくい止めるからお前は生き延びて親鸞聖人のみ教を伝えてくれ」と言って奮戦しました。弟の明教はそのすきに聖人直筆の御名号を奉持し女房と子の亀寿丸を連れて卒塔婆峠へと逃げ延びた。しかし内ヶ島勢は山狩りをして明教を殺そうとしました。明教は「私がここで軍勢を引き止めるからお前たちを逃げ延びよ、そして亀寿丸が大きくなったら必ず照蓮寺を再興してくれ」といって、内ヶ島勢の追っ手を引き寄せ自害しました。明教の妻と亀寿丸はなんとか越前の国、吉崎の蓮如上人の元へと逃げ延びることが出来ました。

こうして内ヶ島為氏の手によって照蓮寺は破壊されてしまいましたが、赤尾（富山県上平村）の道宗、牧ヶ野（荘川村）の唯乗、楢谷（清見村）の善宗の3人はいかに照蓮寺を復興させるか心を砕いていました。『岷江記（みんこうき）』には「泉州堺といえる所に蓮如上人暫く住しおわしぬる時、赤尾の道宗と楢谷の善宗と牧ヶ野の唯乗と、各相伴い堺へ参詣有しかば、上人折節お風呂に召されしが、日頃御尊仰せられける3人ゆえ御風呂の内へかくとぞ申上たりける。上人の御悦ななめならず、珍らしの人々や風呂よりあがるもいとまの久しきぞや、はやとく是へと仰せられお風呂へお招きおわしまし3人各同じ御風呂にぞ入りたりける」と記されています。

亀寿丸は明心房と出家し15歳になっていました。蓮如上人は明心房に飛驒の照蓮寺を再興してはどうかと諭されます。明心房は内ヶ島勢の奇襲を恐れていたもので、内ヶ島に使者を送り「お互いに怨敵の恨みを忘れ、照蓮寺を再興してはどうか」と提案されました。武力で仏法を弾圧した罪の重さに恐れを抱いていた内ヶ島からも和解したいとの申し出を取り付けて明心房は飛驒の地に入りました。かつて照蓮寺を攻めた内ヶ島為氏の息子雅氏が急いで明心房に面会し和解できたことを喜び、一人娘を嫁にもらってほしいと申し出ます。この縁組を皮切りに飛驒の権力者は照蓮寺を支え、荘川村中野に照蓮寺が再建されました。中野の照蓮寺は御母衣ダム建設の為、昭和35年に高山市の城山に移築され現在に至っています。照蓮寺門下の寺院は、現在は、その大半が真宗大谷派の寺院として、飛驒にかなりの数の寺院があります。

そしてもう一つは、聞名寺のルートです。これは、5代本願寺門主 緯如（しゃくにょ）の弟子である願智坊覚淳という人が、各務ヶ原から当初、飛驒の小坂（落合）というところに、寺（現在の福應寺）を建立。その後、神岡の吉田に移り、数度の移転を繰り返して、最終的に越中八尾の聞名寺となったというものです。

こちらの傘下の寺院は、吉田の常蓮寺をはじめとして、山田の大国寺そして、北飛驒を中心にたくさんの寺院があります。現在は、その大半が、本願寺派の寺院として分布しています。

実はこの他にも、高田派の流れの寺院や、時宗がその後浄土真宗になっていったとかの話はありますが、大きく分けるとこの2つの流れとなります。その聞名寺は、本願寺派の大寺院として、越中八尾にあります。

富山での浄土真宗は、勝興寺(高岡)、瑞泉寺(井波)、善徳寺(城端)、聞名寺(八尾)が4大寺院として有名です。姉小路氏との関係についてですが、姉小路基綱の子供が、この寺に入寺していたとのことです。4代目の覚証という人が、姉小路宰相(基綱)の子であると記されています。

また、のちの時代には飛驒を平定した金森長近(かみもり)が、この寺院と懇意にするために贈り物をおくるなど付き合いをしています。



住田 泰典

諸先輩方を前に若輩の私がお話しさせていただくこと、光栄です。今日は、私の最近常々考えていることをお話したいと思います。その考えていることというのは「限られた時間を意識する」ということです。15分間時間をいただいた今日のこの会員スピーチもそうですが、限られた時間の中で、お聞きいただく方に、自分の伝えたいことを、どうやって最大限に伝えるかはなかなか難しいものです。でも、20代の時に、このテーマに対して、答えがとても明確でハッとさせられる出来事がありましたので、今日はそのお話をさせていただきます。

私は30代までテレビ業界の取材現場で仕事をしていました。特に若い20代の頃は、主に現場カメラマンをしていました。テレビの取材というのはカメラマン、カメラアシスタント、音声マン、照明マン、ディレクター、アシスタントディレクターなど、数人でチームを組んで取材をしていました。現在のテレビ業界は、カメラマンとディレクター二人の場合や、ディレクター自身が自分でカメラをまわしながら取材をするなんてこともありますが、これはカメラなどの機材の小型、高機能化や、そもそも取材に経費をかけない手法の番組に制作手法が変わってきたことなどによる変化なのですが、私が現役だったころは、まだ数人の現場チームを組んで取材に行っていました。

あるときの取材で永六輔さんという、去年お亡くなりになりましたが、放送作家の草分け的存在で、タレントや作家としても活躍されていた永さんのインタビューの取材がありました。こうしたインタビュー取材は、通常は事前にディレクターが相手とある程度お話しさせていただく内容を打ち合わせして収録します。その当日も同行した担当のディレクターが、いつものそのとおりに打ち合わせにいくと、永さんがとても驚くべきことをおっしゃられました。「それで君、オンエアでこのインタビューは何分使うの？」これは私も含めスタッフは困りました。なぜなら、先ほども申し上げましたが、通常テレビのインタビューの収録なら、事前に内容をある程度は打ち合わせをしますが、まさか、実際の放送で何秒使うのか？などと逆質問されたことがなかったからです。ちょっと言いにくいことですが、テレビや新聞などのインタビュー取材というのは、相手からお話を聞くという体は取っていますが、実際は制作サイドの都合のいい言葉が相手の口から出てくるまで、質問や語りかけという形で、いわば問い詰めあげ、結構な時間撮影した素材の中から、編集段階でこちらの都合のいいようにつなげて、収まりのいい時間、つまり業界用語で言う尺に分数を仕上げるのですが、永さんのように「これ何分使うの？」とズバリ言われると、正直不意打ちを喰らったように困ってしまうんです。特にその日は若手ばかりの取材クルーだったので、放送業界の超ベテラン先輩、永六輔さんに、ガツンとやられてしまったのです。

永さんお気持ちは次のようなことだったと思います。つまり収録した膨大なインタビューの都合のいいとだけを編集でつまんで使われたら、もしかすると自分の言いたいことではない意味の使われ方をする可能性がある。それをさせない術だったんだと思います。結局ディレクターは、インタビューを使わせていただく時間を指定して永さんにお話をさせていただきました。

永さんという方はすごい方でした。こちらが指定した尺の中で1秒と前後することなくぴたりとお話をしてくださいました。話が

## 例会報告

とてもうまいんです。つまり必要な内容を要点よくまとめて過不足なく時間内にお話しただいたんです。更に、こちらの都合で多少でも言葉をカットすると、その意味が伝わらないくらいになる、非常に高度な技術で作られたインタビューの内容でした。このとき思ったんです。限られた時間を最大限に活かすということはこういうことなのかと。本当にお手本を見せていただきました。

今もって若輩な私がいうのも変な話ですが、諸先輩のみなさま方8月7日(日)、恒例のソフトミニバレーボール大会が開催され、会長幹事が開会式で選手の皆さんを激励すると共に、今回もクラブより精鋭1チームが出場し、選手の皆さんと共に汗を流しました。

も新聞やテレビの取材をお受けになることがあると思いますが、記事を見たときに、これちょっと自分の話したイメージ違うんだよね、みたいなことがあれば、ご参考にしていただけたら幸いです。

私は50才前にして人生には限りがあるということを肌身に感じ始め時間を意識するようになりました。向こう10年で何をやるべきか、今年は何をやるべきか、今日の一日になにをやるべきか、毎週あるロータリーの例会でもこの時間に何をやらせていただくべきか、限られた時間を意識しながら、ひとつひとつ丁寧に考えて生きていこうと思います。

去年、7月に永さんが亡くなられたニュースを見て、しみじみ思い出しながら感じたことでした。

### <ニコニコボックス>

#### ●井辺 一章さん、堺 和信さん

7日、東山中学校の卒業式に出席して来ました。毎年出席させて頂いていますが厳かに行われる式にいつも感動し、日本の伝統の素晴らしさを感じます。先週卓話をいただいた井口校長先生も、式の終了後伝統の「卒業みこし」に載せられラストイヤーを生徒さんや保護者さんから大きな拍手と声援を受けながら、笑顔で校舎前を練り歩かれています。本日の例会は会員スピーチです。田中晶洋さん、住田泰典さんをお願いしてあります。よろしく願います。

#### ●田中 晶洋さん

本日の会員スピーチで「飛騨に浄土真宗が伝わった経緯」についてお話しさせていただきます。間違いなく眠たい話になると思いますので、眼をつむって聞いて頂いても構いません。宜しく願いいたします。

#### ●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

来期の委員会名簿を配布させて頂きました。今期同様、来期も皆様のお力添え、よろしく願います。

#### ●黒木 正人さん

結婚記念日のお祝い有難うございました。先週末岐阜の家に帰った時、2度目の帯状疱疹にかかり不機嫌そうな顔をしているカミさんに「ハイ、お見舞い」と言って渡したら一瞬で笑顔になりました。今度から「なぜロータリーに入会すべきなのか」と人に尋ねられたら、迷わず「カミさんとの関係が修復できます」と答えようと思います。

#### ●杉山 和宏さん

出張が続きほぼ1ヶ月振りに出席しました。でもメーキャップのお陰で100%出席のはずです。遅くなりましたが、先月は結婚記念日とカミさんの誕生日をいただきありがとうございます。

#### ●松川 英明さん

現在高山グリーンホテルにおいて、岐阜県が主催する地歌舞伎の公演が行われており、今週と来週の土日、あと4回あります。たまたま明日11日20:30~私がモデルとなって会場にてデモンストラーションで「くま取り」化粧を披露します。入場無料ですので是非ご来館下さい。

#### ●塚本 直人さん、伊藤 松寿さん、平 義孝さん、田中 武さん、住田 泰典さん

3月12日日曜日、第14回飛騨雪宮祭が行われます。飛騨の若者が中心となり始まった新しい祭り行事も早14年。年々神輿の担ぎ手も増えて盛り上がっています。当日は陣屋前広場・宮前橋河川敷で振る舞い酒、手筒花火、太鼓演奏などが行われます。ぜひ会場に足を運び雪の宮祭りを応援して下さい!!

#### ●下屋 勝比古さん

ソフトミニバレーボール大会への出場および応援ありがとうございました。1勝は次回へ持ち越しましたので練習へどんどんお越し下さい。

#### ●挾土 貞吉さん

ソフトミニバレー、選手の皆さん良く頑張った。応援団が弱かったのが敗因。この次はクラブ全員で1勝目指し頑張ろう。

#### ●大村 貴之さん、斎藤 章さん、田中 武さん、向井 公規さん、萱垣 敬慈さん

3月5日、第67回高山西ロータリークラブ杯争奪高山市ソフトミニバレーボール大会が開催され、当クラブから『はぐるま』として出場しました。遠藤副会長・堺幹事、挾土さん田中武さんに応援して頂きましたが1セットも取れず予敗退。今後の1勝に向けて練習あるのみ。選手の皆さんお疲れ様でした。

## 第67回高山西ロータリークラブ杯争奪高山市ソフトミニバレーボール大会

3月5日(日)恒例のソフトミニバレーボール大会が開催され、副会長、幹事が開会式で選手の皆さんを激励すると共に、今回もクラブより精鋭1チームが出場し、選手の皆さんと共に汗を流しました。

